

浜東北線の南浦和駅で、電車から降りようとした一人の女性が足を踏み外してホームと電車の間に転落し、下半身を挟まれてしまうという事故が起きてしまいました。その時、事故に気付いた車内やホームにいた四十人ほどの乗客と駅員が駆けつけ、全員で力を合わせて「せーの」で電車を押して隙間を少し開け、女性を無事に引き上げたということで

二〇一三年の夏、JR京浜東北線の南浦和駅で、電車から降りようとした一人の女性が足を踏み外してホームと電車の間に転落し、下半身を挟まれてしまうことが感動した、ということでした。

また、昨年のサッカーW杯ブラジル大会では、試合に負けた後にスタジアムを掃除したりゴミ拾いをして帰る日本人サポートナーの姿がメディアを通して世界中にも紹介され、好評を博したことでも皆さんは覚えていらっしゃることででしょう。

以上の二つのことは、「公共の施設をキレイに使う、自分が出したゴミは自分で



利他の心

文星芸術大学附属高等学校
校長 大木廣巳

この小さな出来事は、日本国内だけでなく海外にも新聞やテレビで紹介され、日本中、いや世界中の人々が感動した、ということでした。

持ち帰る」ということや、「他人への思いやりの心は誰もが持つており、その思いやりの心を發揮するのに特別なことは必要ない」ということを表していて、しかも今や日本人にとって常識となりつつあると思うのです。

仏教に「因果応報」という言葉があります。他人に尽くすことは、他人の利だけにとどまらず、まわりもわって自分を利することになると、つまり、他人のためにすることが自分の幸せにつながることが自分の幸せにつながることだ、と説いています。もちろん、他人を害することは、まわりもわざさしさには人間や社会を豊かにする不思議なチカラがあるとも思うのです。

その意味で、生徒の皆さんには「利他の心を持つてほしい」と思っています。本校の

校訓に「一、他人を敬え」とあります。ですが、本校ではこの言葉を次のようにわかりやすく説明しています。「常に他人の立場を理解し、尊重して他人に迷惑をかけず、進んで人のため、社会のために自分が出来る精一杯のことを行なうことが大切だと

私も今まで長い人生を生きてきました。でも、まだまだ未熟です。失敗も数多くしました。恥をかいたり、迷ったり、道を誤ったのかなと思うこともあります。皆さんも、多分同じような人生を歩むことになるかも知れません。

でも皆さんには、自分で自分を恥ずかしいと思うような生き方はしてほしくはないのです。それには、誰かのために自分の人生を歩むのだという心を持ち続けてほしいと思います。

高校行事予定

△三月

1日(日) 第六十七回
卒業証書授与式
2日(月) 代休

3日(火)～6日(金) 学年末考査
6日(金) 身体計測・個人写真撮影
9日(月)・10日(火) 追試験
(第一回)生徒臨休
(第二回)新入生オリエンテーション

16日(月) 新入生オリエンテーション
21日(土) 新入生オリエンテーション
24日(火) 第一・二学年修了式
25日(水) 在校生登校日
(教科書購入)

▽四月

4日(土) 在校生登校日
6日(月) 入学式

8日(水) 第一学期始業式・対面式



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
<http://www.bunsei.ed.jp/>
発行 教務部・学報編集係

文星芸大附now!は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

学校の最新情報は
Facebookへを
ご覧ください！

中学校行事予定

△三月

7日(土) 新入生オリエンテーション
9日(月) 三年生を送る会
12日(木) 表彰式(三年生)
13日(金) 第八回卒業式
24日(火) 一・二年生修了式

高等学校

卒業生へ贈る言葉



第3学年主任
千代野 仁

2015.3.1

自分をイキルこと

そして、2015 雄飛
アル日ノオハナシその五から：
その五「自分はたつた
ひとりの自分」
され、あれはこうなるの
しかしながら時代がどう
がアタリマエとか、これは
みんなそう思つてゐるし、
みんなそう思つてゐる、なん
て口をそろえて語る自分が
いたら、顔つきがビニール
ハウスの野菜のようになつ
ているかもしれない。

そして時間が過ぎた。長い時間が過ぎた。その若者は怯えた。怖くて震えて十分怯えたら、なぜだかしつかりと自分に問いかげはじめた。いつも自分に問いかけて、自分でも明確にならない質問を問い合わせて、ひとりだけで繰り返していると、かろうじて立っていた痩せこけた両足が、温かく脈動しはじめる。ホコリっぽいその遠い場所で、水枯れ寸前だった若者のカラダに力強く脈が動きはじめる。そして若者は、自分が活きていく、歩いていく術をギリギリで見つけた。

そして時間が過ぎた。長い時間が過ぎた。その若者は怯えた。怖くて震えて十分怯えたら、なぜだかしつかりと自分に問いかげはじめた。いつも自分に問いかけて、自分でも明確にならない質問を問い合わせて、ひとりだけで繰り返していると、かろうじて立っていた痩せこけた両足が、温かく脈動しはじめる。ホコリっぽいその遠い場所で、水枯れ寸前だった若者のカラダに力強く脈が動きはじめる。そして若者は、自分が活きていく、歩いていく術をギリギリで見つけた。

そして時間が過ぎた。長い時間が過ぎた。その若者は怯えた。怖くて震えて十分怯えたら、なぜだかしつかりと自分に問いかげはじめた。いつも自分に問いかけて、自分でも明確にならない質問を問い合わせて、ひとりだけで繰り返していると、かろうじて立っていた痩せこけた両足が、温かく脈動しはじめる。ホコリっぽいその遠い場所で、水枯れ寸前だった若者のカラダに力強く脈が動きはじめる。そして若者は、自分が活きていく、歩いていく術をギリギリで見つけた。

人生において何かをなぞができる人間を目指す。実際の体験や経験をしなければ、何を言つても軽くて浅い感じがするのは当然なので、自分の分をわきまえて人とつるむことなくさまざまな体験をすること。それが教養を積むということだ。教養はきっと潤いのある強いハートを与えてくれる。

人生八十年を二十四時間とすると、みなさんは早朝五時頃だそうです。きっと、今日も良い一日です。
行ってらっしゃい！

ライオン主義があれば何でもできる。感謝と笑顔があれば何でももうまくいく。みんなの活躍を期待しています。

(阿久津 公美)

「家に着くまでが遠足」とうとする時に、「見えるまで考え方抜くこと」が大切だと思います。頑張ってください。(染野 幸弘)

「巧詐(こうさ)」は拙誠(せつせい)に如かず。素直(すくじやう)と誠意(せいぎ)をもつて人や物事に向かってください。(白戸 沙和恵)

「新しく世界に出て行く君たちへ。大きな夢と少しの不安もあるけれど力強く飛び立て！」

大変な経験はマイナスではなく、忍耐強さと優しさを身につけるプラスの経験だつたと。

雄飛せよ、文星健児！！

君達の進化は各々に違うが、無限大の可能性を秘めてい

人生、死ぬこと以外はかすり傷。傷だらけの人生を！

人生、死ぬこと以外はかすり傷。傷だらけの人生を！

(就職指導部長 清谷 浩司)

卒業おめでとう。みんなとは一年間の付き合いでしたが、太く濃いものだったが、太く濃いものだったと感じています。

て諦めず頑張ってください。(伴野 真彦)

「ありがとう」の言葉と笑顔を忘れずに！みんなの幸せをいつも祈っています。

こんな時も夢をあきらめないでください。

Never give up! 己を信じて前へ進めば必ず道は開けます。

(星野 英雄)

思つようにはかないからこそ人は成長し、深みを増す。

(富田 健作)

人間のあらゆる行為に努力と結果があり、努力の大さにふさわしい結果が生じる。努力だ!!

「言行枢機」これから先、どんな困難が待ち受けているとも決して諦めず頑張ってください。

(星野 英雄)

力と結果があり、努力の大さにふさわしい結果が生じる。努力だ!!

可能性を信じて



第12期生徒会会長 巧舞(3年4組)

一年前を振り返つてみると、生徒会長に任命された日が懐かしく感じられます。私が生徒会長を務めようと思った理由は自分自身を成長させたかったからです。私は大勢の人の前で話をすることに慣れておらず、自分の考えをうまく伝えることができませんでした。そうした苦手なことを克服したいとも思いました。



第13期生徒会会長 宏川知(2年9組)

古来より、「言葉」には不思議な力が宿るとされています。自分が口にした言葉は「力」を持ち、自分やその周辺に少なからず影響を及ぼすというものです。

ポジティブで前向きな言葉は、周囲の人々の力になります。結果として自分にも良い影響を与えますが、ネガティブな言葉を発していると、マイナスなエネルギー

成長＝充実

が周囲や自分に悪い影響を及ぼします。

たとえば「夢・目標」：言葉の意味は少し違いますが、どちらもプラスのパワーを持つてている言葉です。すでに夢や目標を持つてている人はもちろん、まだ見つからない人も、これから学校生活の色々な場面で、このような「不思議な力」を持つ言葉を積極的に使ってみてください。

あなたが発するその言葉は、自分自身に、仲間たちにパワーを与えます。ぜひ一緒に明るく活気溢れる学校を作つていきましょう。

表彰者一覧

学校長賞	高橋 英統	栃木県バスケットボール協会 優秀選手賞
十二カ年皆勤賞	佐藤祐太郎 小平 紘輔	(柔道) 土屋 譲
	関 一樹 山井 良介	(バスケットボール) 関英里 松下 浩之
三カ年皆勤賞	佐藤 森吾	八木澤弘人 小川 隼斗
六カ年皆勤賞	森吾	金久保 航
一ヵ年皆勤賞(54名)	大橋 優斗	五乙女隆汰
三ヵ年皆勤賞(65名)	萩原 一樹	(卓球) 日賀野博紀
六ヵ年皆勤賞	関 一樹	(軟式野球) 大橋 祐太
一ヵ年皆勤賞(54名)	遠藤 幹太	和良品 凜
三ヵ年皆勤賞(65名)	大橋 翔利	船山 光彦
日本私立中学・高等学校 連合会会長賞	三浦 幹太	小島 将郁
全国商業高等学校協力会 理事長賞	遠藤 岬	櫻井 彦暉
宇都宮商工会議所会頭賞	大橋 翔利	大橋 荒
栃木県産業教育振興会 会長賞	成瀬 裕介	山岸 健太
栃木県産業教育振興会 会長賞	遠藤 岬	上竹 安達
栃木県吹奏楽連盟賞	神山 丈	安部 錦木
栃木県吹奏楽連盟賞	船山 光彦	菊池 真登
栃木県吹奏楽連盟賞	長谷川 陸	時田 淳平
栃木県吹奏楽連盟賞	渡邊 一博	小池 竜平
栃木県吹奏楽連盟賞	鈴木 恋雄	鈴木 安納
栃木県吹奏楽連盟賞	吉田 吉田	中山 雅大
校内漢字テスト年間優秀賞(71名)	代表 伊藤 寛人	代表 伊藤 寛人

第67回東京卓球選手権
(ジュニア) 廣田 匠悟
(一般) 菊池 真登
(3月11日(水)開催)

輝け！文星健児

※(英) II 英進科(普) II 普通科
(ワインターカップ) 1回戦
関東高等学校新人大会
(2月7日(土)開催) 1回戦

全国高校選抜優勝大会
(バスケットボール) 1回戦
関東高校選抜大会(団体)
予選 I 部リーグ B組 4位

卓球部

全日本選手権(ダブルス)

菊池 真登(普三年)・

鈴木 誠(OB)組 2回戦

関東高校選抜テニス大会
(団体) 12位

テニス部

全国高等学校選手権県予選

(団体) 見上 駿亮 4位

(個人) 73kg級 小川 知宏 4位

(ともに普二年) 3位

柔道部

全国高等学校新人大会

(団体) 準優勝

剣道部

全国高等学校新人大会

(団体) 準優勝

将棋部

全国高文連将棋新人大会

(団体) 準優勝

音楽部

全国高文連将棋新人大会

(団体) 準優勝

吹奏楽部

関東地区高文連将棋大会

(会長杯) 優勝

吹奏楽部

原田拓・岡本一仁(英二年)

予選 2勝 2敗

吹奏楽部

トーナメント(会長杯) 優勝

予選 1勝 3敗

第67回東京卓球選手権

(ジュニア) 廣田 匠悟

(一般) 菊池 真登

(3月11日(水)開催)

支えてくださった多くの方々へ応えるためにも、大会では、日々の練習の成果を出し切り、一つでも多く勝ち進めるよう頑張りました。

いと願います。応援を宜しくお願い致します。

廣田 匠悟(普二年)

文星のゼッケンを背負つて出場する最後の大会です。

三年間お世話になつた方々に恩返しができるように文星で学んだ全てを出し切り頑張ります。応援を宜しくお願い致します。

菊池 真登

三年間お世話になつた方々に恩返しができるように文星で学んだ全てを出し切り頑張ります。応援を宜しくお願い致します。

廣田 匠悟(普二年)

文星のゼッケンを背負つて出場する最後の大会です。

三年間お世話になつた方々に恩返しができるように文星で学んだ全てを出し切り頑張ります。応援を宜しくお願い致します。

菊池 真登

検定試験取得状況
(二月末現在)

日本漢字能力検定

【三級】

瀬野尾拓也

高津

遼資

高橋 翔悟

鈴木

駿弥

小林 隆晟

川村

虎可

実用英語技能検定

【準二級】

佐藤

堀

智史

福田 雄太

岩木

加藤

郷間 俊希

吉田

直道

大登 健太

山口

開人

金森 拓仁

後藤来維夢

橋本

天斗

田崎 悠悟

吉川

大輝

内川 浩生

金田

幸祐

木村 亮

渡邊

大輝

朝妻 隼

鴨田

大輝

岸 佐藤

大輝

大輝

揚石 凌平

塙

七海

第53回全商英語検定

北原 渡邊

石原

済太

大雅

相澤

拓海

瀬野尾拓也

大輔

【二級】

内川

渚生

第29回全商商業経済検定

【三級】

内川

渚生

普通救命講習修了

【三級】

内川

渚生

高所作業特別教育修了

【三級】

内川

渚生

小型車両系特別教育修了

【三級】

内川

渚生

普通救命講習修了

本校卒業生 ノーベル賞受賞式に参加

日本人三氏がノーベル物理学賞を受賞した昨年十二月の授賞式に、本校卒業生の金子光顯(かねこみつあき)君が招待され列席しました。

金子君は平成二十年三月に本校英進科を卒業し、現役で京都大学工学部に進学しました。現在は、京大大学院工学研究科原子工学科専攻博士課程に在籍し、日本学術振興会特別研究員として国から奨励金を受けて半導体についての研究を行っています。

金子君は今回、授賞式に合わせスウェーデンで開催された「ストックホルム国際青年科学セミナー」に日本代表二名のひとりとして選ばれました。現地では授賞式関連の行事に加え、セミナー独自のプログラムもあり、地元高校生対象の発表会では、自分の研究テーマである窒化アルミニウムガリウムについての研究成果を英語で発表する機会もあつたそうです。

セミナー参加の様子についてはテレビ朝日の「報道下野新聞に記事が掲載されました。



中村教授と（右が金子君）

授賞式に参列して
金子 光顯
ノーベル財団の協力でスウェーデン青年科学者連盟
が毎年ノーベル賞週間に合わせてストックホルム国際青年科学セミナー(SIYSS seminar)に日本代表として参加させていたときました。

現地高校生、高校を卒業して間もない人が各々研究課題を持ち、彼らが既に自己立した研究者となっていることに驚きを隠せませんでした。

お互いの研究について議論を重ね、私たちをストックホルムに集めてくれた科学にまた、国籍や人種にとらわれない科学の普遍性に感謝しました。

金子君の今後の活躍にますます注目したいと思います。（写真は、国際科学技術財団提供）



日本代表の二人

ステーションSUNDAY」で放映され、帰国後の報告会の様子は、昨年十二月二十日の下野新聞に記事が掲載されました。

ツブ参加と盛りだくさんの内容でした。

格式高い授賞式、晩餐会に参加させていただき、ノーベル賞が科学界で最高位の賞であることを改めて思いました。

授賞式、晩餐会とは対照的なGolden hallでのダンスパーティでは受賞者が楽しくダンスを踊っている姿を見でき、ノーベル賞受賞者を身近に感じることができました。

SIYSSには18か国24名の研究者を志す18~24歳の若者が参加します。彼らとの交流はノーベルイベント参加と同様に意義深いものでした。

SIYSSには18か国24名の研究者を志す18~24歳の若者が参加します。彼らとの交流はノーベルイベント参加と同様に意義深いものでした。

すい発表であつたと言つていて、同じ日本人として誇りを感じました。

12月のストックホルムは、町中がクリスマスムードに包まれています。LEDが彩る幻想的な風景を眺めながら、受賞者が、科学が世界をより良く変えたことを確かに感じ、日本人であること、研究者であることに喜びを感じました。

今回派遣していただいた国際科学技術財団様並びに一年間もの間準備に時間を割いていたいた現地コーディネーターの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

英進科 総合学習 ディベート授業

優劣を判定します。
討議テーマは「制服の是非」や「電子辞書か紙辞書か」といった生活に密着したものから、「成人年齢の引き下げの是非」や「死刑制度の是非」などの社会問題までさまざまです。

ディベーターは与えられたテーマについて調査をして、チームで話し合うなど事前準備を綿密にしてディベートに臨み、活発な討議が行われます。また判定員は討論の要点をメモしながら、チームの優劣を客観的かつ総合的に判定しています。

英進科の総合学習では、大学や社会に出で役立つ「相手の意見をよく聞いて、いろいろな角度から考え、相手にわかるように自分の意見を述べる」能力を培うため、ディベートの授業を実施しています。

クラスを三名程度のチームに分け、二つのチームがあらかじめ設定してあるテーマについて討議を進め、残りのクラスメイトが判定員となり、討議の進め方の見方を述べる」能力を培うため、ディベートの授業を実施しています。

普通科進学ゼミでは、放課後、大学進学に向けたゼミを実施しています。六時間授業を受けた後、さらに授業が行われるので生徒たちは大変ですが、疲れた様子を見せることがなく意欲的に取り組んでいます。

普段の授業も少人数で実施されますが、ゼミではさらに少人数になるので、普段以上に密度の濃い授業となります。生徒たちが希望する大学に合格できるよう、各先生方が熱の入った授業を展開しています。

実際にゼミに参加している普通科進学コースの一年生、二年生の声を聞いてみましょう。

一年四組 吉田 開人

一年間参加してきた進学ゼミでは、授業の予習をし、授業での理解が深まりました。これからも、進学ゼミに参加していきたいです。

二年四組 大金 海渡

ゼミでは、主に授業の予習・復習や模擬試験の解説などをやって下さり、とても助かっています。

ゼミでは、主に授業の予習・復習や模擬試験の解説などをやって下さり、とても助かっています。

中学校

卒業生へのメッセージ



校長 中山 一郎

最近よく耳にする言葉の一つに『不易流行』がある。この言葉は俳聖・芭蕉の弟子である向井去来が師の俳論をまとめた『去来抄』に書かれている。

不易とは世の移りにかかわらず変わらない「普遍の真理」、流行とは時代と共に変わっていくもの、という意味である。

これを今君たちの上に置いてみよう。教育の理念は「三敬精神」「ライオン主義」は『不易』に他ならない。そして時代と共に少しづつ変わる教科の内容や社会的要請。これは『流行』であるう

がこれから歩む道は決して平坦な道ではありません。でも、「あなたたちなら乗り越えていける！絶対に！」

業生諸君の雄飛を期す。



第3学年主任 横山 恵子



3年1組担任 柚山 英樹



3年2組担任 斎藤 淳



第3学年副担任 田中 弓園

立志式

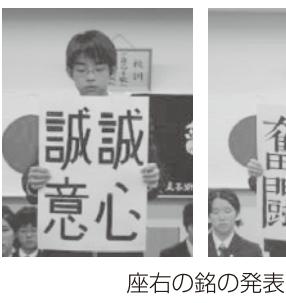
中学校第二学年は、二月九日(月)の六・七校時に立志式、立志セレモニーを行いました。

式は、厳肅な雰囲気の中行われ、クラス代表の生徒二名が立志を迎えての作文を発表しました。

セレモニーでは、これら生きて行くうえでの座右の銘となる熟語を一人ひとりが発表し、一年生や保護者の方々に聞いてもらいました。今年度から文星中に勤務し始めた私は、三年生の皆さんにいろいろな場面で助けてもらいながら一日一日過ごしてきました。「一緒に勉強したり、活動に取り組むのを楽しみにしていました。三年前の幼くて可愛らしい表情には、笑顔にならずにはいられなかったが、英語の授業、様々な行事や部活動はもちろん、毎日何気ない会話なども含め、皆さんとの時間は、私が考えていた以上に充実した三年間でした。でも、大きな三年でしたね。それは、皆にとっても私もとても…多くの時間と一緒に過ごし、皆と苦楽を共にできたことは、私にとってかけがえのない宝物になりました。何をするに限りません。しかしも私はまた、皆さん一人一人のなかで、それぞれの素敵な個性や大きな可能性を感じました。そして、それはまだ、皆さん一人一人のなかで、それから歩んでいくつてほしいと思います。

今回立志を迎えた二年生は、今まで歩んできた過去を振り返り、これから生き方について深く考える良い機会となりました。ここで考えたことを忘れず、これから歩んでいくつてほしいと思います。

時間でもありました。いよいよ新たな一步を踏み出すときですね。自分に対する厳しさと、周りの人に対する感謝や思いやりの気持ちを忘れずにいてほしいと願っています。皆さんこれから歩みと活躍を心から応援しています。ご卒業おめでとうございます。



座右の銘の発表

文星フォトギャラリー



予餞式・予餞会



ジョイントコンサート／音楽部・和太鼓部



立志式・校外学習・中大連携授業・スキー教室／中学校